

第1 交通局の概要

1. 営業路線の概要

福岡市地下鉄は、昭和56年7月に室見～天神間5.8kmを開業して以来、順次、延伸・開業を重ね、平成5年3月に博多～福岡空港間を開業したことにより、空港線（1号線、姪浜～福岡空港、13.1km）、箱崎線（2号線、中洲川端～貝塚、4.7km）の全区間が開業した。

その後、市西南部における慢性的な交通渋滞を緩和し、効率的で利便性の高い公共交通体系の確立を図るとともに、均衡あるまちづくりを推進するため、平成17年2月に七隈線（3号線、橋本～天神南、12.0km）が開業、令和5年3月には天神南から博多まで1.6kmが延伸開業し、3路線全線で計31.4kmとなった。

空港線は、地下鉄として全国で初めて空港乗入れを実現し、空港から博多駅まで5分、都心の天神まで11分の利便性を確保するとともに、姪浜駅でJR筑肥線と相互直通運転を行っているほか、天神駅、天神南駅及び薬院駅では西鉄天神大牟田線と、博多駅では新幹線及びJR鹿児島本線と、貝塚駅では西鉄貝塚線と接続しており、地下鉄路線を軸として、九州旅客鉄道株式会社（JR九州）、西日本鉄道株式会社の各路線と航空路線を結ぶ広域交通ネットワークを形成している。

なお、1日あたり輸送人員は令和元年度の47万3千人まで10年連続で増加していたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により急減し、その後、緩やかに回復、令和4年度の1日あたり輸送人員は39万9千人となった。

路線名		空港線 (1号線)	箱崎線 (2号線)	小計	七隈線 (3号線)	計
線 区 概 要	区間（起・終点）	姪浜～ 福岡空港	中洲川端 ～貝塚	—	橋本～博多	—
	建設キロ	14.9km	5.2km	20.1km	14.1km	34.2km
	営業キロ	13.1km	4.7km	17.8km	13.6km	31.4km
	駅数	13 駅	7 駅 (含中洲川端)	19 駅	18 駅 (含博多)	36 駅
	平均駅間距離	1.09km	0.78km	0.99km	0.80km	0.90km
	相互直通運転	筑肥線 地下鉄線	筑前深江～姪浜 姪浜～福岡空港	20.1km 13.1km	—	—
建設費	4,113億円（205億円/km）			2,811億円 (221億円/km) ※橋本～天神南間	—	
工法	開削工法、山岳トンネル工法、シールド工法、ケーソン工法				—	
事業期間	昭和49年度～平成5年度			橋本～天神南間 平成7年度～ 平成18年度 天神南～博多間 平成24年度～ 令和4年度	—	

※七隈線延伸区間（天神南～博多）の建設費は残工事等があるため未計上

2. 開業の経緯

開業年月日	空港線		箱崎線		七隈線		累計
	開業区間	開業キロ	開業区間	開業キロ	開業区間	開業キロ	
昭和56年 7月26日	室見～天神	5.8 ^{km}		km		km	5.8 ^{km}
昭和57年 4月20日	天神～ 中洲川端	0.8	中洲川端 ～呉服町	0.5			7.1
昭和58年 3月22日	姪浜～室見	1.5					10.0
	中洲川端～ 博多(仮)	1.4					
昭和59年 4月27日			呉服町～ 馬出九大病院前	1.6			11.6
昭和60年 3月3日	博多(仮) ～博多	0.3					11.9
昭和61年 1月31日			馬出九大病院前 ～箱崎九大前	1.6			13.5
昭和61年 11月12日			箱崎九大前 ～貝塚	1.0			14.5
平成5年 3月3日	博多～ 福岡空港	3.3					17.8
平成17年 2月3日					橋本～天神南	12.0	29.8
令和5年 3月27日					天神南～博多	1.6	31.4

※ 開業キロは、開業した区間の長さ（キロ）を表す。

3. 設備・規格等

(1) 空港線・箱崎線

項 目		内 容
車 両 基 地		福岡市西区下山門四丁目1番1号、敷地面積 約71,500㎡
変 電 所		5カ所 (姪浜、今川橋、中洲、榎田、箱崎)
軌 間 ・ 電 気	軌 間	1,067mm
	電 気 方 式	D C 1,500V
	集 電 方 式	架空線方式
車 両	保 有 車 両	144両 (1編成6両、24編成。1000N系18編成、2000系1編成、2000N系5編成。全車冷暖房)
	車 両 寸 法	長さ 約20.0m、幅 約2.8m、高さ 約4.1m
	定員 (1編成)	854人 (先頭車135人、中間車146人)
保 安 設 備		列車間の間隔を確保する装置による方法 (ATC保安方式)、列車無線、ATC (自動列車制御装置)、ATO (自動列車運転装置)、CTC (列車集中制御装置)
駅 構 内	駅 舎	エスカレーター (全駅) エレベーター (全駅) 駅冷房 (全館) (5駅……西新、天神、中洲川端、博多、福岡空港) 駅冷房 (局所) (14駅……西新、天神、中洲川端、博多、福岡空港を除く駅)
	駅 務 機 器	券売機・精算機・改札機 (全駅)、定期券発行機 (5駅)

※ 定期券は全駅設置のマルチ券売機で発売

(2) 七隈線

項 目		内 容
車 両 基 地		福岡市西区橋本二丁目34番1号、敷地面積 約79,000㎡
変 電 所		3カ所 (賀茂、茶山、薬院)
軌 間 ・ 電 気	軌 間	1,435mm
	電 気 方 式	D C 1,500V
	集 電 方 式	架空線方式
車 両	保 有 車 両	84両 (1編成4両、21編成。3000系17編成、3000A系4編成。全車冷暖房)
	車 両 寸 法	長さ 約16.5m、幅 約2.5m、高さ 約3.1m
	定員 (1編成)	3000系 : 378人 (先頭車89人、中間車100人) 3000A系 : 351人 (先頭車81人、中間車94人・95人)
保 安 設 備		列車間の間隔を確保する装置による方法 (ATC保安方式)、列車無線、ATC (自動列車制御装置)、ATO (自動列車運転装置)、CTC (列車集中制御装置)
駅 構 内	駅 舎	エスカレーター (全駅) エレベーター (全駅) 駅冷房 (全館) (5駅……橋本、別府、薬院、天神南、博多) 駅冷房 (局所) (13駅……橋本、別府、薬院、天神南、博多を除く駅)
	駅 務 機 器	券売機・精算機・改札機 (全駅) 定期券発行機 (2駅)、自動定期券発売機 (5駅)

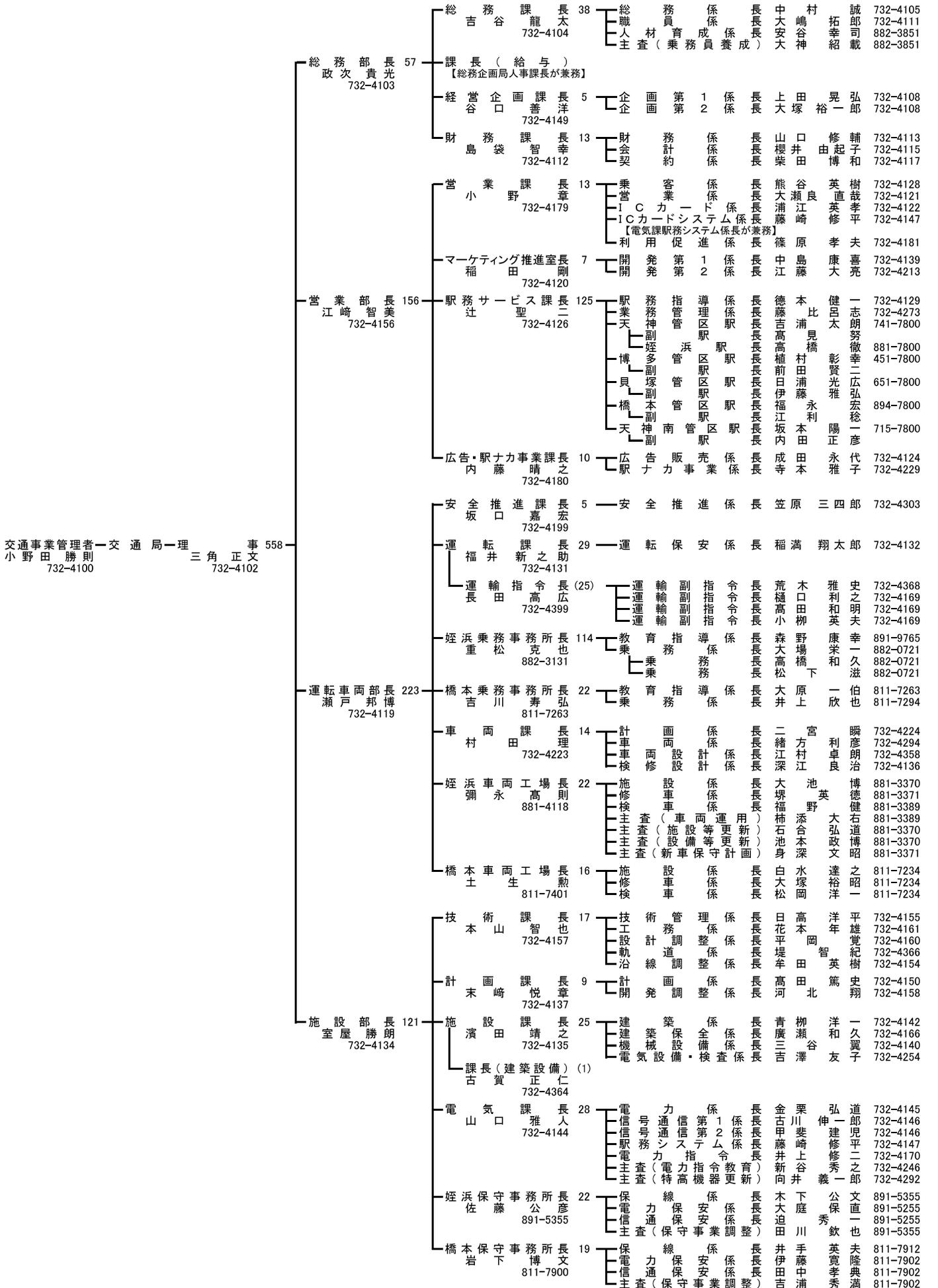
※ 定期券は全駅設置のマルチ券売機で発売

4. 組織及び職員

(令和5年7月1日 現在)

(1) 組織図

【市外局番 092】



(2) 組織の変更概要

施行日	組織数				職員数	備 考
	局	部	課	係		
令和5年 4月1日	1	4	20	82	558	<ul style="list-style-type: none"> ・営業部を新設 ・施設課に課長（建築設備）を新設 ・安全推進課を新設 ・電気課に信号通信第2係、主査（特高機器更新）を新設 ・姪浜車両工場に主査（新車保守計画）を新設 ・建設部、施設設計課、建設課、工事事務所、技術課の主査（延伸事業調整）、計画課の主査（開業工程調整）、運転課の主査（延伸計画）、車両課の車両設計第2係を廃止 ・軌道課の軌道設計係を廃止、技術課と軌道課を統合し、技術課に軌道係を新設 ・電気課の主査（信通設備更新）を廃止

- ※1 交通事業管理者を除く
- ※2 組織数のうち、局は理事をいう
- ※3 課長（給与）（※総務企画局人事課長が兼務）は、課数に含めない
- ※4 営業課ICカードシステム係（電気課駅務システム係長が兼務）は係数に含めない
- ※5 職員数は条例定数

(3) 管区駅の概要

管 区 駅	路 線	駅 名	駅務業務
天神管区駅	空 港 線	姪浜、天神	直 営
		室見、藤崎、西新、唐人町、大濠公園、赤坂	委 託
博多		直 営 ※	
祇園、東比恵、福岡空港		委 託	
貝塚管区駅	箱 崎 線	中洲川端、呉服町、千代県庁口、馬出九大病院前、箱崎宮前、箱崎九大前、貝塚	委 託
橋本管区駅	七 隈 線	橋本、次郎丸、賀茂、野芥、梅林、福大前、七隈、金山、茶山	委 託
天神南管区駅		別府、六本松、桜坂、薬院大通、薬院、渡辺通、天神南、櫛田神社前	委 託

※博多駅の七隈線改札口は委託

(4) 種類別、費目別職員数（単位：人）

（令和5年4月1日現在）

種 類 別		費 目 別				合 計
		営 業 勘 定		建 設 勘 定		
運 輸	駅 務	185	125	-	-	185
	指 令		25		-	
	営 業		25		-	
	そ の 他		10		-	
運 転			136		-	136
土 木			47		9	56
電 気			50		6	56
車 両			41		11	52
一 般 管 理			63		8	71
合 計			522		34	556

※ 交通事業管理者及び再任用短時間（週31時間）職員4名は除く